

草原やさいだより



No.6

2010年11月発行

阿蘇草原再生シール生産者の会
事務局
〒869-2225
熊本県阿蘇市黒川1180
阿蘇自然環境事務所
Tel : 0967-34-0254
<http://www.aso-sougen.com/>
Producer/

新しい仲間が増えました！ 平成22年に入会した生産者会員紹介

いのぶや

井 農夫弥さん（阿蘇市南小国町満願寺）

くじゅうに向かうやまなみハイウェイ沿い、瀬の本の交差点近くで農家レストラン「八菜家」を経営されています。野草堆肥を使って野菜を生産し、レストランのお料理に使用したり、販売したりしています。こだわりのお野菜です。



井農夫弥さん
「野草堆肥で生産、栽培した野菜の生命力や味を、田舎の料理方法で伝授していきたい」

わたなべ かねひさ

渡辺 金久さん（阿蘇市一の宮町三野）

大量の野草を堆肥として使用し、カボチャ、玉ネギなどを作っています。草を刈った草原では様々な花が咲いています。



あそんファーム大収穫祭で野菜の販売を行いました！

10月16日、阿蘇市竹原牧場であそんファーム大収穫祭（主催：阿蘇テレワークセンター）が実施され、「軽トラ市場」にて新鮮な草原再生シールの野菜を販売しました！



軽トラ市場での販売の様子

当会の軽トラが一番の盛況ぶりでした！今後も草原再生シールの野菜をしっかりとPRしていきたいと思います。

阿蘇グリーンストックから 当会の野菜セットを販売します！

（財）阿蘇グリーンストックのギフトセット「阿蘇からの冬の贈り物」から、野菜セットを販売します。内容は大根、白菜、里芋など8~10品目程度になる予定です。



※詳しくは同封のカタログをご覧ください。

※販売についてのお問い合わせ、**注文はグリーンストックまで。**

草原再生のための**採草活動**を実施しました！

当会は野草を堆肥として利用することで、阿蘇の草原を維持・保全していくことを目的としています。

豊かな草原の維持のためには野焼きだけでなく、採草し、利用することが重要であることから、会として積極的に野草を活用していこうと、昨年に引き続き今年も、採草活動を実施しました。刈った草は会員が野草堆肥として野菜の生産に使用します。



花咲く草原のために…

草原は管理方法によっていくつかのタイプに分けられます。野焼きしか行わない草原はススキが優占するのに対し、採草地ではススキの生育が抑えられ、様々な野草が花を咲かせます。どちらの環境も大切ですが、近年は草の利用の減少に伴い、特に採草地が減りつつあります。採草地の植物を守るためにも、近年野焼きしか行われていなかった草原において採草活動を実施しました。

熊本市にて**阿蘇の野菜のイベント販売**を実施します！

日時：11月25日(木)、26日(金)
10:00～17:00

場所：NTT西日本熊本支店前
「桜町ITデパート」イベント広場

出品予定：大根、白菜、ほうれん草、
里芋、ブロッコリーなど



野草堆肥で育てられた
野菜をご購入頂くことで、
阿蘇の草原再生に
ご協力下さい！

